第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	こども発達支援センター事業	所管部局	学校教育部

1	所管室課	学校管理課	事業名	こども発達支援センター管理事業			
事業概要							
こども発達支援センター管理							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
<p>【包括管理業務委託の導入】 包括管理業務委託の導入に伴い、今まで職員により行っていた問い合わせ対応や施設の不具合に関する現場確認が大幅に減少するとともに、修繕業務など複数の維持管理業務を一括して発注することで、契約・発注事務に係る業務負担の軽減を図ることが出来た。業務プロセスの改善により、こども発達支援センターの正職員の業務量について、当初の想定どおり縮減を図ることが出来た。</p>		決算額 (千円)	-	-	749	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	-	-	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		包括管理業務の実施に当たっては、事業者や関係室課とも協力しながら、連携体制を構築するとともに、事業実施のチェック体制を確立する必要がある。			

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	こども発達支援センター事業	所管部局	児童部

1	所管室課	こども発達支援センター	事業名	こども発達支援センター管理事業		
事業概要						
こども発達支援センター管理						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
電気設備、消防設備、建築物・建築設備等の安全点検、修繕を実施。警備安全管理業務を実施。		決算額(千円)	35,705	27,098	31,598	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
		平成19年(2007年)に施設が整備され17年経過していることから、令和5年度はわかたけ園のプールの防水修繕や遊具の修繕、エアコンの修繕・更新を行った。今後も施設内の設備を計画的に更新していく必要がある。また、昨今の異常気象等の影響により集中豪雨が発生した際に、換気扇等に結露が発生し、天井や壁に浸潤することが頻発している。市内の障がい児施策推進の拠点施設として運営を続けるためには、施設全体の計画的な改修が必要である。				今後の実施計画の方向性・内容
						継続

2	所管室課	こども発達支援センター	事業名	児童発達支援事業		
事業概要						
児童発達支援、相談支援、保育所等訪問支援						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
杉の子学園では、発達に課題のある児童に対し、集団生活や日常生活のなかで基本的な動作の指導や発達を促すための支援を単独通園により行った。令和5年度末園児数66人。 杉の子学園では、通園児童の保護者支援として、ペアレント・プログラムを実施した。 わかたけ園では、上肢、下肢または体幹の機能に障がいのある児童に、発達支援及び理学療法等を親子通園により提供した。令和5年度末園児数27人。 わかたけ園では、保健センター等の関係機関から紹介を受けた未就学児を対象とした親子療育教室を行った。また、関係機関からの紹介を受けた18歳未満の児童に対し、医師の指示のもと、外来訓練(理学療法)を実施した。令和5年度から医療的ケア児等コーディネーターによる相談窓口を開設し、関係機関と連携しながら様々な相談に対応した。 ・杉の子学園ペアレント・プログラム実施件数 令和5年度 14件 ・わかたけ園外来訓練(延件数) 令和3年度 1,577件、令和4年度 1,345件、令和5年度 1,433件 ・医療的ケア児等コーディネーターによる相談窓口 令和5年度 264件、ガイドブックの作成・配布		決算額(千円)	103,832	113,567	116,756	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
		一般財源の比率(%)	92.0	92.8	91.7	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
		杉の子学園・わかたけ園の在籍者が減少しているが、杉の子学園・わかたけ園の療育が必要な児童を適切に繋ぐための取組を強化していく。わかたけ園においては、就労家庭の増加により親子通園が困難との意見があるため、単独通園の対象範囲の拡大を検討していく。医療的ケアを必要とする児童が増加しており、令和5年度から設置した相談窓口には多くの相談が寄せられ、引き続き医療的ケアを必要とする児童とその保護者への支援の充実を図っていく。				今後の実施計画の方向性・内容
						継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	こども発達支援センター事業	所管部局	児童部

3	所管室課	こども発達支援センター	事業名	地域療育事業			
事業概要							
地域療育、通園療育支援、乳幼児健診事後指導							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
【外来相談内訳】一般相談：令和3年度300件、令和4年度225件、令和5年度337件 発達相談：令和3年度472件、令和4年度483件、令和5年度505件 言語相談：令和3年度178件、令和4年度141件、令和5年度158件 作業療法相談：令和3年度175件、令和4年度172件、令和5年度280件 おひさま相談：令和4年度252件、令和5年度281件【各種療法】言語聴覚療法：令和3年度551件、令和4年度458件、令和5年度346件 作業療法：令和3年度1,218件、令和4年度582件、令和5年度648件 ソーシャルスキルトレーニング：令和3年度24件、令和4年度40件、令和5年度115件【相談支援事業】（障がい児支援利用計画の作成等）令和5年度56人、モニタリング167件【保育所等訪問支援】令和5年度9件【施設支援】言語聴覚療法：令和4年度13件、令和5年度11件 作業療法：令和4年度218件、令和5年度333件、【親子教室】令和3年度316組、令和4年度312組、令和5年度355件【巡回相談】令和3年度455件、令和4年度387件、令和5年度421件【大阪大学大学院連合小児発達学研究所と連携したカンファレンスの実施】令和5年度24回73名【ペアレントトレーニング】令和3年度30件、令和4年度170件、令和5年度205件【療育支援事業】令和4年度8事業所、研修11回、令和5年度15事業所 研修13回【身体障害児通園施設長期欠席対策事業】保護者の出産や入院児に児童の療育を保障するため、通園の介助員確保について助成を行う。令和3年度3名、令和4年度4名、令和5年度2名（わかたけ園通園児含む）		決算額 (千円)	81,600	83,167	110,500	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		一般財源の比率(%)	88.8	89.3	86.8		
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 支援を必要とする児童は増加傾向にあり、従来の事業のあり方では対応に時間を要するなどの課題がある。令和5年度から、大阪大学大学院の連合小児発達学研究所との連携により、医療が必要な児童を大阪大学医学部附属病院に繋げている。その他の関係機関との連携も図りながら、より効率的・効果的な療育システムを確立するための検討を行っている。また、児童発達支援を行う民間事業者は毎年増加しており、事業者と関係機関との連携や、療育の質の向上を図るため、支援者向け講座や全事業所への訪問による事業所支援を行っている。							

	所管室課		事業名	事業概要			
事業概要							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容	
		一般財源の比率(%)					
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	ひとり親家庭等支援事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て給付課	事業名	児童扶養手当給付事業			
事業概要							
児童扶養手当給付							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
・児童扶養手当法に基づき、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育する者に手当を支給した。 【支給件数】 令和3年度…25,432件 令和4年度…24,402件 令和5年度…23,485件		決算額(千円)	1,049,535	1,001,522	979,812	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 法定受託事務で、ひとり親家庭への経済的な支援の根幹となる事業である。	
		一般財源の比率(%)	66.5	66.7	66.8		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					
		特になし					

2	所管室課	子育て給付課	事業名	ひとり親家庭等支援事業			
事業概要							
ひとり親家庭自立支援							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
【ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の上限額引上げ等による拡充】 ・母子・父子自立支援員、就業支援専門員によるひとり親家庭相談の実施 ひとり親家庭相談 令和3年度…1,212件 令和4年度…1,154件 令和5年度…1,077件 就労支援相談 令和3年度…811件 令和4年度…705件 令和5年度…639件 ・養育費・親子交流相談 令和3年度…21件 令和4年度…23件 令和5年度…27件 ・ひとり親家庭に対する自立支援給付金の支給 支給人数 令和3年度…23人 令和4年度…25人 令和5年度…28人 支給額 令和3年度…17,652千円 令和4年度…21,391千円 令和5年度…21,449千円 ・日常生活支援の実施 日常生活支援延べ利用回数…42回 派遣委託料…412千円 ・ファミリー・サポート・センター利用料の助成 延べ利用回数…257回 助成額…311千円 ・養育費に関する公正証書等作成費用の補助 申請件数…20件 助成額…391千円		決算額(千円)	30,273	33,817	34,303	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		一般財源の比率(%)	42.5	40.4	40.8		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					
		相談件数は減少しているが、一人でも多くのひとり親家庭の方に、より良い条件での就職や転職等に関する専門的な相談や情報提供を行うとともに、公共職業安定所等の関係機関と連携しながら、継続的な支援を行っている。また、ひとり親家庭の生活の安定を図るため、児童扶養手当の手続きの際に、養育費の取決めに係る公正証書作成補助制度等の案内を行っている。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
子育て給付課	子育て世帯生活支援特別給付金事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 413	施策 配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業 ひとり親家庭等支援事業	所管部局 児童部

3	所管室課	子育て給付課	事業名	母子生活支援施設・助産施設入所事業			
事業概要							
市外母子生活支援施設入所、助産施設入所							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
・母子生活支援施設 DVなどの理由により、市内に居住することが困難な母子家庭を入所させ、生活の安定を図った。 【入所世帯数】 令和3年度…2世帯 令和4年度…1世帯 令和5年度…2世帯 ・助産施設 経済的な理由により入所助産を受けることができない妊産婦に対して、入所助産に係る費用を助成した。 【入所人数】 令和3年度…4人 令和4年度…5人 令和5年度…9人		決算額(千円)	7,107	2,539	12,301	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	54.2	50.0	58.3		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		特になし			今後の実施計画の方向性・内容 継続 ひとり親家庭等の生活の安定を図り、配慮を必要とする家庭への支援として、今後も引き続き実施する必要がある。

4	所管室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入事業			
事業概要							
母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入経費 債務負担行為 令和5年度から令和8年度まで		決算額(千円)		33,701	33,698	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)		100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		特になし			今後の実施計画の方向性・内容 継続 令和2年4月の中核市移行に伴い、大阪府から事務移譲を受けた母子父子寡婦福祉資金貸付金の譲渡債権を購入するため、事業を実施する必要がある。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	ひとり親家庭等支援事業	所管部局	児童部

5	所管室課	子育て給付課	事業名	交通遺児手当・遺児手当支給事業			
事業概要							
交通遺児手当支給、遺児手当支給							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
・交通遺児手当 交通事故により両親の一方が死亡または重度障がいとなった中学校終了前の児童を養育する者に対して手当を支給した。 【支給件数】 令和3年度…110件 令和4年度…108件 令和5年度…96件 ・遺児手当 両親が死亡または重度障がいとなった中学校終了前の児童を養育する者に対して手当を支給した。 【支給件数】 令和3年度…136件 令和4年度…98件 令和5年度…91件		決算額(千円)	1,993	1,669	1,515	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容 継続 経済的・精神的な不安を抱えることとなった家庭を支援することで、児童の健全な育成を図るため、今後も引き続き事業を実施する必要がある。		
		特になし					

6	所管室課	子育て給付課	事業名	ひとり親家庭医療費助成事業			
事業概要							
ひとり親家庭医療費助成							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童と、その児童を監護養育するひとり親等に係る医療費の自己負担額の一部を助成した。 令和3年度 延べ対象者数…58,491人 助成額…157,073千円 令和4年度 延べ対象者数…55,637人 助成額…159,446千円 令和5年度 延べ対象者数…53,722人 助成額…175,491千円		決算額(千円)	161,551	163,905	180,258	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	49.8	51.1	51.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容 継続		
		医療費助成額については増加傾向にあるが、ひとり親家庭の方の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう、継続して事業を実施する必要がある。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	家庭児童相談事業	所管部局	児童部

1	所管室課	家庭児童相談室	事業名	家庭児童相談事業		
事業概要						
子育て短期支援、子ども見守り家庭訪問、育児支援家庭訪問、児童虐待防止対策、親支援プログラム、子育て世帯家事・育児支援						
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点
<p>(1) 児童虐待防止対策事業 ヤングケアラーも含め、複雑化する家庭児童相談に迅速かつ適切に対応するため、令和5年度に会計年度任用職員を3名増員し相談体制の強化を図っている。 ・家庭児童相談件数 令和2年度(1,630件)、令和3年度(1,538件)、令和4年度(2,017件)、令和5年度(2,277件)</p> <p>(2) 子ども見守り家庭訪問事業 面談率の向上のため、会計年度任用職員を配置。乳児家庭の地域社会からの孤立を防止するため、民生・児童委員、主任児童委員等による乳児の健やかな成長に必要な情報の提供や助言を実施した。 ・家庭訪問における面談率(保健師の新生児訪問を除く) 令和2年度(3.4%)、令和3年度(35.2%)、令和4年度(79.0%)、令和5年度(73.2%)</p> <p>(3) 子育て世帯家事・育児支援事業 家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦・ヤングケアラー等がいる家庭に、家事・育児等の支援を実施した。 令和5年度からは、事務処理等を担う会計年度任用職員を任用するとともに、支援が必要な家庭への働きかけをより丁寧に行った。 ・子育て世帯家事・育児支援事業延利用件数 令和4年度(106件)、令和5年度(442件)</p>		決算額(千円)	4,968	9,282	23,296	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
		一般財源の比率(%)	28.3	45.3	48.2	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		ヤングケアラーも含め、複雑化する家庭児童相談に対して、人員の確保により体制を強化し、家庭支援事業などの予防的支援やアウトリーチ等による個別支援、学校・保育園等への巡回訪問による関係者への支援・啓発を行い、児童虐待の早期発見、早期対応に努める必要がある。子ども見守り家庭訪問事業については、引き続き面談率の向上に取組みつつ、すこやか親子室の訪問指導事業との連携など事業のあり方を検討していく。		

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点
		決算額(千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	子供の生活支援事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て政策室	事業名	子どもの生活支援事業			
事業概要							
子どもの生活支援							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
<p>【子供食堂開設等事業補助金の対象事業追加による拡充】</p> <p>(1) 子供食堂の開設等費用の補助の実施 交付団体数：1 団体 交付金額：191,103円</p> <p>(2) 子供の貧困対策に関するワーキングチーム 「第2次吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」に関係する関係部局の事業や施策の進捗状況及び課題等について、情報共有を図った。 全体会：3回、作業部会 アウトリーチ支援：5回、ヤングケアラー相談体制の構築：5回、子供の居場所づくり：5回</p> <p>(3) 市民セミナーの開催 令和5年4月に施行された「こども基本法」をテーマに、市民や関係部署の職員を対象とした『「子どもの貧困」はこども基本法でどう変わる？ -地域のサポートについて考える-』と題した講座を開催した。参加者：58名</p> <p>(4) 習い事助成事業の準備 ・生活保護又は児童扶養手当受給者で小学校5年生から中学校3年生までの児童の保護者に対し習い事費用を助成する子供の習い事費用助成事業を民間委託により構築した（令和6年4月開始）。</p>		決算額 (千円)	563	5,523	26,533	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	0.0	63.4	99.3	今後の実施計画 の方向性・内容 拡充 学び・経験の機会の差の解消のため、習い事費用助成事業の助成対象の適正化を検討していく。	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)				今後の実施計画 の方向性・内容	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	子供の生活支援事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	生活福祉室	事業名	子どもの学習・生活支援事業		
事業概要						
子どもの学習・生活支援						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 貧困の連鎖を防止することを目指し、生活困窮者世帯の子どもの学力向上のための学習支援教室（市内5教室）での学習指導を行った。 南ブロック 学習支援教室 開催回数 96回 延べ参加人数 511人 北ブロック 学習支援教室 開催回数 99回 延べ参加人数 779人 東ブロック 学習支援教室 開催回数 99回 延べ参加人数 750人 西ブロック 学習支援教室 開催回数 97回 延べ参加人数 314人 北第2ブロック 学習支援教室 ※令和5年6月事業開始 開催回数 82回 延べ参加人数 512人 (2) 子ども健全育成生活支援員による養育・教育・日常生活支援を行った。 子ども健全育成生活支援員 3人		決算額 (千円)	28,064	27,785	30,026	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☒ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の 比率(%)	50.0	50.2	50.1	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			学習支援教室は、令和5年度は、67人の中学生が参加し、参加した中学3年生の高校進学率は100%となった。また、令和5年度から高校進学後の中退防止のために、高校生を対象とする学習相談等を各教室で開始している。不登校状態の子供への支援の充実を含め、引き続き、子ども健全育成生活支援員を活用しながら、効果的な支援に取り組んでいく。	

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の 比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	児童扶養手当等返還金滞納整理事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て給付課	事業名	児童扶養手当等返還金滞納整理事業			
事業概要							
児童扶養手当等返還金滞納整理							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
・児童扶養手当 令和3年度 債権件数…29件 督促件数…32件 支払件数…15件 令和4年度 債権件数…17件 督促件数…24件 支払件数…12件 令和5年度 債権件数…15件 督促件数…22件 支払件数…6件 (支払件数については分割納付を含む)		決算額 (千円)	0	0	0	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☒ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0		
・児童手当 令和3年度 債権件数…8件 督促件数…3件 支払件数…5件 令和4年度 債権件数…8件 督促件数…4件 支払件数…4件 令和5年度 債権件数…11件 督促件数…5件 支払件数…6件		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容		
		定期的な催告、電話連絡、自宅訪問等を 継続して行い、返還が困難な場合でも分 割納付の案内を行う等、根気強く滞納の 解消に努めている。			継続		

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	児童福祉サービス給付事業	所管部局	児童部

1	所管室課	すこやか親子室（子育て政策室）	事業名	児童福祉サービス給付事業			
事業概要							
児童福祉サービス給付							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
(1) 支給決定件数 児童福祉法上の障がい児通所支援の利用を必要とする児童に対し、通所受給者証を交付した。 支給決定件数 令和3年度…3,167件 令和4年度…2,753件 令和5年度…3,406件 (2) 支給額 支給決定業務において、対象児童に交付した通所受給者証をもとに請求された障がい児通所給付費について、審査及び支払いをした。 障がい児通所支援延べ利用件数及び支給額 令和3年度…195,381件 2,346,622,818円 令和4年度…226,526件 2,667,234,211円 令和5年度…259,305件 3,138,351,928円		決算額(千円)	2,352,631	2,671,875	3,145,670	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	22.2	25.1	25.3		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容		
		発達支援や早期療育の必要性が広く認識され、療育を必要とする児童が増加している。対象児童の増加に伴い、事業費も増大していることから、業務量も増える傾向にあり、業務の効率性に課題がある。			継続		
					引き続き、業務プロセスの改善に取り組む。		

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
		決算額(千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付金事業												
事業概要																
母子父子寡婦福祉資金貸付金																
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点										
<p>【生活資金貸付金の項目追加による拡充】 ひとり親家庭及び寡婦の経済的自立を図るため、子どもの修学や就学支度、親自身の技能習得等に必要な資金の貸付けを行った。</p> <p>【貸付実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>新規貸付…29件</td> <td>継続貸付…29件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>新規貸付…23件</td> <td>継続貸付…32件</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>新規貸付…9件</td> <td>継続貸付…30件</td> </tr> </table>		令和3年度	新規貸付…29件	継続貸付…29件	令和4年度	新規貸付…23件	継続貸付…32件	令和5年度	新規貸付…9件	継続貸付…30件	決算額(千円)	29,437	26,384	24,864	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		令和3年度	新規貸付…29件	継続貸付…29件												
		令和4年度	新規貸付…23件	継続貸付…32件												
令和5年度	新規貸付…9件	継続貸付…30件														
一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0													
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容											
		国の修学支援新制度の利用者が増加したことにより、新規貸付件数は減少したが、予約申請により貸付けまでの期間を短縮することで必要な時期に貸付けを行うことができている。			継続											

2	所管室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付事務事業			
事業概要							
母子父子寡婦福祉資金貸付事務							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
貸付申請の受理及び審査、貸付決定後の借用手続、貸付金の振込み及びコンビニ納付、口座振替での収納業務を行った。		決算額(千円)	1,639	1,865	1,677	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
				事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		特になし			継続		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	所管部局	児童部

3	所管室課	子育て給付課	事業名	償還金滞納整理事業			
事業概要							
償還金滞納整理							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
令和3年度 債権件数…447件 完納件数…360件 督促回数…542件		決算額 (千円)	0	0	1	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
令和4年度 債権件数…464件 完納件数…384件 督促回数…440件		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性	
令和5年度 債権件数…454件 完納件数…365件 督促回数…513件						☐ 効率性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☒ 公平性	
		累積滞納となり、借主や連帯借主・連帯 保証人とも連絡が取れない場合等に、法的 措置への移行時期を検討する必要がある。 る。				☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性	
						☐ 効率性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性	
						☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名

所管室課	事業名